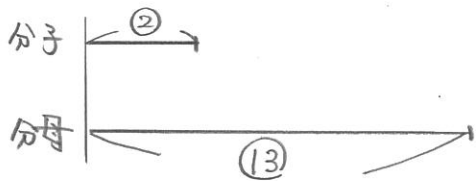


1から学ぶ中学受験算数～第73回分数の応用①（分子と分母の和・差）～

氏名：

解答・解説

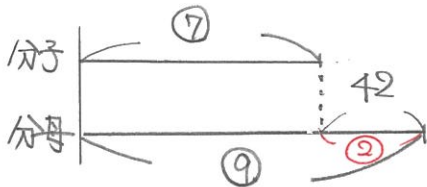
例1 分子と分母の和が75で、約分すると $\frac{2}{13}$ になる分数はいくつですか。



⑮ = 75なので
① = $75 \div 15 = 5$
だから分子は $5 \times 2 = 10$
分母は $5 \times 13 = 65$

$$\frac{10}{65}$$

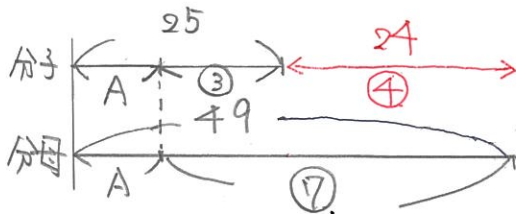
例2 分子と分母の差が42で、約分すると $\frac{7}{9}$ になる分数はいくつですか。



② = 42なので
① = $42 \div 2 = 21$
だから分子は $21 \times 7 = 147$
分母は $21 \times 9 = 189$

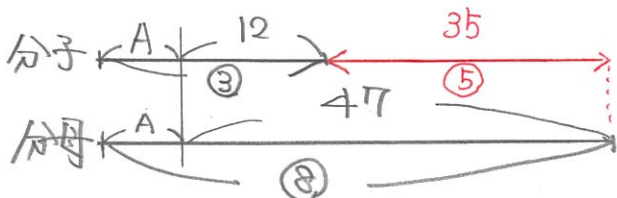
$$\frac{147}{189}$$

例3 $\frac{25}{49}$ の分母，分子から同じ整数Aをひいたら， $\frac{3}{7}$ になりました。Aはいくつですか。



④ = 24なので
① = $24 \div 4 = 6$
だから ③ = $6 \times 3 = 18$
Aは $25 - 18 = 7$

例4 $\frac{12}{47}$ の分母，分子に同じ整数Aをたすと， $\frac{3}{8}$ になりました。Aはいくつですか。



⑤ = 35なので
① = $35 \div 5 = 7$
だから ③ = $7 \times 3 = 21$
Aは $21 - 12 = 9$

★ポイント(約分した分数)
⇒ 約分した分数は、
分子と分母の比を表している!!